

シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系列	一般教養		
科目名	社会教養学		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期・火曜日・1・2時限あるいは3・4時限		
時限数	24時限(中間及び期末試験を除く)		
担当教員名	松原 吉彦		
	(有)・無		
実務経験	自動車販売店での経験を活かし、自動車業界の仕組みや自動車整備士の仕事についての講義を実施する。		
授業の目的	就職活動に向けた自動車業界の知識の習得・サービス業への理解・一般教養の習得 ビジネスマナーの習得・就職試験対策		
テキスト	①ソーシャル検定(基本テキスト)		
授業計画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	サービス業について	自動車整備士とサービス業	
第2回	自動車業界について	自動車業界とは メーカーとデーラー、お客様の関係 デーラー、専業、兼業の違い	
第3回	就活スケジュール	自動車デーラー、販売チャネル 工場見学感想 求人企業	
第4回	会社の仕組みについて	会社組織、役職、従業員 履歴書指導	
第5回	履歴書の書き方	履歴書指導 就職試験練習問題	
第6回	会社訪問について	第1回就職希望調査 会社訪問とは	
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	ソーシャル検定中級講義	ソーシャル検定中級テキストの説明、練習問題 「社会人としてのマナー」「現代社会のルール」	②P1~5
第8回	ソーシャル検定中級講義	ソーシャル検定中級テキストの説明、練習問題 「挨拶」「お辞儀」「身だしなみ」	②P7~16
第9回	ソーシャル検定中級講義	ソーシャル検定中級テキストの説明、練習問題 「出社と退社」「挨拶と名刺交換」「立場と序列」	②P17~24

第 10 回	ソーシャル検定中級講義	ソーシャル検定中級テキストの説明、練習問題 「敬語の使い方」	②P 38~43						
第 11 回	ソーシャル検定中級講義	ソーシャル検定中級テキストの説明、練習問題 「電話の取扱」「ビジネス文書、FAX」	②P 45~53						
第 12 回	ソーシャル検定中級講義	ソーシャル検定中級テキストの説明、練習問題 「仕事の進め方」「訪問と接客」「社内マナー」	②P 53~80						
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する 筆記試験							
到達目標	就職意識の醸成 ソーシャル検定中級の取得								
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。								
定期試験受験資格	開講された全时限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した时限がある場合は、補講も完了している者。								
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする 整数について、次の割合で行う。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>中間試験の点数</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>期末試験の点数</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって 評価する。</p> <p style="text-align: center;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、 成績は60点 = 可とする。</p>			中間試験の点数	30%	期末試験の点数	40%	平常点	30%
中間試験の点数	30%								
期末試験の点数	40%								
平常点	30%								
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。								